陳情第１６３号

令和８年　９月　２日

川崎市議会議長　原　　典　之　様

麻生区在住者
ほか　25名

バリアフリーと防災避難路確保のための閉鎖されている市道の整備及び使用に関する陳情

陳 情 の 要 旨

麻生区東百合丘21番２号にある市道（約80～100m）は、放置されたままで通行できません。高齢の方や荷物を持った時など、階段を使用せず、この市道を通行できれば大変助かります。ぜひ整備し使用できるようお願いいたします。

陳 情 の 理 由

麻生区東百合丘21番２号の前には整備されていない市道があります。

私たちは日々この市道をまたぐようにして、50数段ほどある階段を通り、宮前区にある一般道へと出ています。

この整備されていない市道は麻生区と宮前区にかかるためなのか、なぜか40数年放置されたままになっており、通行止めとなっています。現在は除草シートが張ってますが、夏場は隙間から伸びた雑草が隣接する建物を覆い尽くすような状態です。

以前に区役所に整備及び使用のお願いをしたところ、区をまたぐ（区境にある）などの理由で曖昧なままに終わってしまい、現在に至っています。

この市道が利用できるようになると50数段の階段を使わないで、一般道への通行が可能となります。車椅子の通行や台車を使用した荷物の運搬なども可能となり、高齢者だけでなく、多くの利用者にとって、有用な市道となります。

また、階段だけが唯一の通路であった私たちには、もう一つの通路ができ、

避難通路としての大きな役割を果たします。

市の行政も、バリアフリー化や防災へ配慮が高まっているとお聞きしました。是非とも御理解をいただき、この市道を整備し使用できるようお願い申し上げます。

なお、整備の際は、私ども利用者や隣接居住者の要望を取り入れ、よりよい市道となるよう御配慮お願いいたします。